

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 404

事務事業名	観光案内所運営事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	観光振興課		
課長名	杉野 幸夫	内線	471
担当者名	田中 勝美	内線	242

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040402	歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光客受入体制の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	7	商工費
項	1	商工費
目	3	観光費
事業コード	020300	観光案内所運営事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	観光交流都市づくり計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	観光客、(一社)大村市物産振興協会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	観光に関する情報発信及びイメージ向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	昭和55年度に大村市観光案内所を設置し、観光案内業務及び物産などのPR促進活動を行っており、平成13年度から(一社)大村市物産振興協会に委託している。		
事業期間	昭和 55 年度 ~ 平成	年度	実施方法 委託
根拠法令、要綱等	大村市観光案内所設置規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 開設日数	計画値	360	360	361	360	年末年始を除いて開設。27年度は大雪の影響で2日間閉店。
		実績値	360	359	359		
	達成度	%	100.0%	99.7%	99.4%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					
成果指標	① 観光案内所年間利用者数 (訪問・電話問い合わせ等の利用者数)	計画値	30,000	30,000	30,000	30,000	
		実績値	30,274	34,417	35,525		
	達成度	%	100.9%	114.7%	118.4%		
	② 年間観光客数	計画値	1,080,000	1,080,000	1,080,000	1,428,000	
		実績値	1,102,800	1,193,801	1,139,453		
	達成度	%	102.1%	110.5%	105.5%		
	主要観光施設+イベント参加者						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,526	2,420	2,427	2,421	2,588	2,588	2,588	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	136	133	132	131	131	131	131	
一般財源	2,390	2,287	2,295	2,290	2,457	2,457	2,457	
② 人件費(千円)	2,198	1,258	1,207	1,065	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.26	0.15	0.14	0.13	観光案内業務及び物産PR推進活動を(一社)大村市物産振興協会に委託する。	観光案内業務及び物産PR推進活動を(一社)大村市物産振興協会に委託する。	観光案内業務及び物産PR推進活動を(一社)大村市物産振興協会に委託する。	
時間外勤務(時間)	66	62.4	110	60				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,724	3,678	3,634	3,486				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	観光案内所利用者数は、計画値を上回っている。
事業が抱える問題・課題等	観光案内所用の駐車場スペースが狭い。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR大村駅や県営バスターミナルに位置する観光案内所は、市の観光玄関口の一つであり、市の観光物産の情報発信と観光案内は不可欠である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市の観光・物産の振興のため、情報発信基地としての観光案内所の活用は不可欠であり、積極的に市が関わるべきである。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	観光客数及び案内所利用者数は、計画値を上回っており一定の成果が上がっている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	JR大村駅等を利用する観光の玄関口として、(一社)大村市物産振興協会への助成は、観光・物産振興に効果がある。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	案内業務の人件費及びトイレ清掃に係る委託料であり、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	不特定多数の観光客や市民が使用するため、受益者負担を求めることは出来ない。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
 現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	大村市の観光・物産の振興及び情報発信基地として、市と連携して観光のPRを推進していく。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。